

リフレッシュ!!

No.1



働き方改革に関する国や県の方向性、本校の実態や好事例など、学校における働き方改革に関する情報を「働き方改革通信」として定期的にお知らせします。学校一丸となって、学校における働き方改革に取り組んでいきましょう。

学校における働き方改革の必要性

我が国の学校教育は、高い意欲や能力をもった教師の努力や取組によって支えられ、これまで大きな蓄積と高い成果を上げています。

しかし、今、**学校教育は持続可能かどうか**の岐路に立っています。**教師の長時間勤務の実態**が明らかとなっており、我が国の学校教育の高い成果が、その教師の長時間にわたる献身的な取組の結果によるものであるならば、持続可能とは言えません。

教員勤務実態調査（平成28年度）時間外勤務の推計（平均）

小学校	中学校
約59時間/月	約81時間/月

‘子供のためであればどんな長時間勤務も良しとする’という働き方は、教師という職の崇高な使命感から生まれるものですが、その中で教師が疲弊していくのであれば、それは‘子供のため’にはなりません。また、意欲と能力のある人材が教師を志さなくなり、学校教育の水準の低下を招くおそれもあります。

学校における働き方改革の目的

教師のこれまでの働き方を見直し、教師が我が国の学校教育の蓄積と向かい合っ**て自らの授業を磨く**とともに、**日々の生活の質や教職人生を豊かにする**ことで、自らの**人間性や創造性**を高め、**子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること**

学校における働き方改革には特効薬はなく、様々な取組を総力戦で進めることが必要

公立学校の教育職員における「休日のまとめ取り」のための1年単位の变形労働時間制～導入の手引き～（令和2年7月 文部科学省）

現状

○超過勤務時間別割合（令和元年4月）

	45h以下	45h～80h以下	80h～100h以下	100h超
小学校	36.1%	50.0%	10.4%	3.5%
中学校	19.3%	43.9%	21.7%	15.2%

文部科学省 令和元年度 教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査

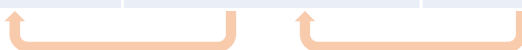


茨城県の目標

1ヶ月の超過勤務45時間を超える者の割合 ➡ 0%（令和4年度末までに）

本校の現状

超過勤務時間	45h以下	45h～80h以下	80h～100h以下	100h超
4月	27.8%	44.4%	27.8%	0.0%



リフレッシュ!!

No.2



学校における働き方改革を考えようシリーズ



崇高な使命感から

子供のためであれば、どんな長時間勤務もよとする考え方



新しい物事を取り入れる余裕 はありますか？

心の余裕、時間的な余裕、体力的な余裕

- ✓ 新しい学習指導要領
 - ・育成を目指す資質・能力
- ✓ 新しい学習評価
- ✓ 1人1台端末
- ✓ 新しい学び
 - ・個別最適な学び
 - ・協働的、探究的な学び
- ✓ 前例のないリスク など

社会の変化のスピード感 予測困難な時代
新型の感染症

自分の生活で、何か犠牲に していることはないですか？

趣味の時間、家族との時間、
大切な人との時間、
違う業種の人と話す時間、
学ぶ時間、本を読む時間 など



リフレッシュ

健康

心の安定

豊かな感性

多様な見方・考え方

クリエイティブな発想

教師という職業の魅力

限られた時間の中で、
高い専門性と豊かな人間性で、質の高い教育活動を展開する

子供と向かい合う いい授業を創る

本校の現状

超過勤務時間	45h以下	45h～80h以下	80h～100h以下	100h超
4月	5人(27.8%)	8人(44.4%)	5人(27.8%)	0人(0.0%)
5月	6人(33.3%)	7人(38.9%)	5人(27.8%)	0人(0.0%)

茨城県の目標

1ヶ月の超過勤務45時間を超える者の割合 ➡ 0%（令和4年度末までに）

リフレッシュ!!

No.3



今、この「リフレッシュ!!」を読んでくださっている先生方！ありがとうございます。
もし、学年内で読んでいない先生がいたら、気にかけてください。時間的に（心に）余裕がないのか、働き方をみんなで改革していこうとする波にまだのれていないのか。前者なら、至急マネジメントが必要です。

**働き方改革は、あくまで手段です。
時間を削減すること自体が目的となっははいけません。
大切なことまで削減してしまっは本末転倒です。**



学校における働き方改革の目的

教師のこれまでの働き方を見直し、教師が我が国の学校教育の蓄積と向かい合っは**自らの授業を磨く**とともに、**日々の生活の質や教職人生を豊かにする**ことで、自らの**人間性や創造性**を高め、**子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること**

大切なこととは？ ➡ **授業を磨くこと**

いい授業を創ること

いい授業とは、どんな授業でしょうか？

ちょこっとブレイク



The mediocre teacher tells.
The good teacher explains.
The superior teacher demonstrates.
The great teacher inspires.



ウィリアム・アーサー・ワード
William Arthur Ward

平凡な教師は、言っは聞かせる。
よい教師は、説明する。
優秀な教師は、やっはみせる。

しかし、最高の教師は、（ の に ）

リフレッシュ!!

No.4



今回は、実践シリーズです！

「超過勤務時間削減シミュレーションシート」の活用

74モデルを基にした、超過勤務時間削減シミュレーションシート				対象：70時間以上
74モデル		2～3時間／日	16時間30分／週	74時間30分／月
出勤 7:30 8:10		退勤 16:40 18:00		
月曜日	40分	勤務時間	1時間20分	2時間 × 4日 = 8時間
火曜日	40分	勤務時間	2時間20分	3時間 × 5日 = 15時間
水曜日	40分	勤務時間	1時間50分	2時間30分 × 5日 = 12時間30分
木曜日	40分	勤務時間	2時間20分	3時間 × 5日 = 15時間
金曜日	40分	勤務時間	2時間20分	3時間 × 4日 = 12時間
土曜日		3時間		3時間 × 4日 = 12時間
		内容	1週間あたりの時間	1か月あたりの時間
このモデルから、増やしてしまふところはどこですか？				超過勤務時間 ()月の目標
このモデルから、減らせるところはどこですか？				時間

74モデル
63モデル
51モデル
45モデルがあります。
自分の勤務状況に合わせて、活用できます。



シートはこちら



増えてしまうところはどこですか？ 減らせるところはどこですか？

全国の好事例から学ぶ



全国の学校における働き方改革事例集

取組一覧

取組内容をクリックして、各詳細ページに移動することができます。

- 学習指導**
 - 1. 教材研究や作成
 - 2. 授業・指導事例の作成
 - 3. 教材の共有
 - 4. 授業や学校目標のデジタル化
 - 5. 授業・指導事例の共有
 - 6. 授業の共有
 - 7. 授業や学校目標の共有
 - 8. 授業や学校目標の共有
 - 9. 授業や学校目標の共有
 - 10. 授業や学校目標の共有
- 学習評価**
 - 1. アセスメント・評価
 - 2. 評価の共有
 - 3. 評価の共有
 - 4. 評価の共有
 - 5. 評価の共有
- 生徒指導**
 - 1. 指導事例
 - 2. 指導事例の共有
 - 3. 指導事例の共有
- 進路指導**
 - 1. 進路指導事例
 - 2. 進路指導事例の共有
 - 3. 進路指導事例の共有

全国の学校における働き方改革事例集

取組一覧

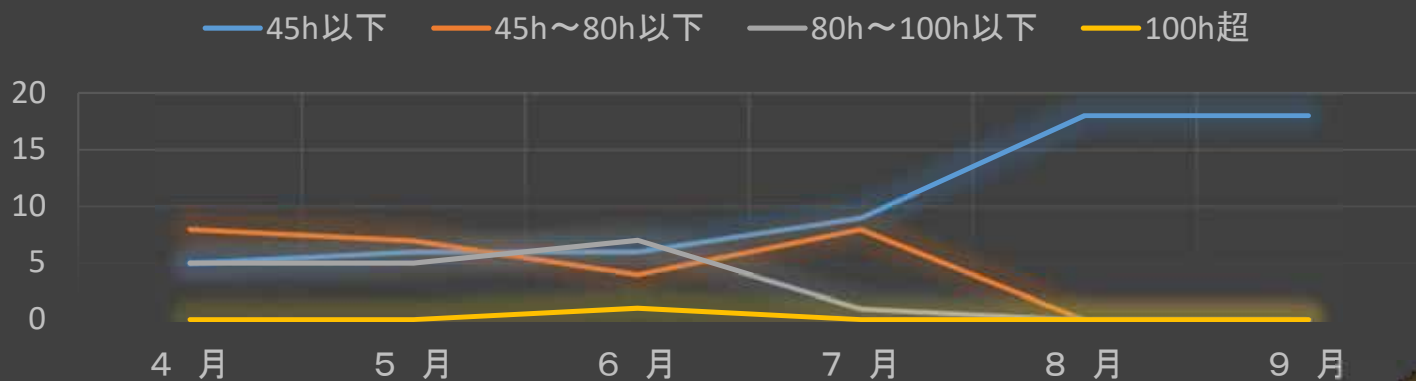
- 特別活動**
 - 1. クラブ・部活動の取組
 - 2. クラブ・部活動の取組
 - 3. クラブ・部活動の取組
 - 4. クラブ・部活動の取組
 - 5. クラブ・部活動の取組
- 部活動**
 - 1. 部活動
 - 2. 部活動
 - 3. 部活動
 - 4. 部活動
 - 5. 部活動
- 校外での活動**
 - 1. 校外での活動
 - 2. 校外での活動
 - 3. 校外での活動



本校の現状を客観的に眺めて

本校の現状	45h以下	45h～80h以下	80h～100h以下	100h超
4月	5人(28%)	8人(44%)	5人(28%)	0人(0.0%)
5月	6人(33%)	7人(39%)	5人(28%)	0人(0.0%)
6月	6人(33%)	4人(22%)	7人(39%)	1人(6%)
7月	9人(50%)	8人(44%)	1人(6%)	0人(0%)
8月	18人(100%)	0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)
9月	18人(100%)	0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)

超過勤務時間 月ごとの人数の推移



この表、グラフから、どのようなことを感じましたか？



超過在校等時間80時間を超える教職員等への対応について

県西教育事務所 令和3年10月13日付け西教第676号 より

- 1 趣旨
 新型コロナの影響による休校措置から通常登校となる中で、対面学習や学校行事等の充実を図る取組などにより、超過在校等時間の増加が予想されるため、過労死ラインと言われる超過在校等時間80時間/月超を未然に防止する観点から、超過在校等時間40時間/月を超えた時点で校長による面談を行い、具体的に超過在校等時間80時間/月を超えないための方策を構築・指導を行うことで、当該教職員の心身の過度の負担を着実に解消する取組を推進する。

- 2 面談方法
 教員評価における進捗状況の確認の一環として実施する面談を活用

- 3 面談対象者
 (1) 令和3年4月以降、超過在校等時間が80時間/月を超えた職員
 (2) 今後、超過在校等時間80時間/月超が予想される職員
 (3) 月の中で超過在校等時間が40時間を超えた職員



茨城県の目標

1ヶ月の超過勤務45時間を超える者の割合 ➡ 0%（令和4年度末までに）

74モデルを基にした、超過勤務時間削減シミュレーションシート

対象：70時間以上

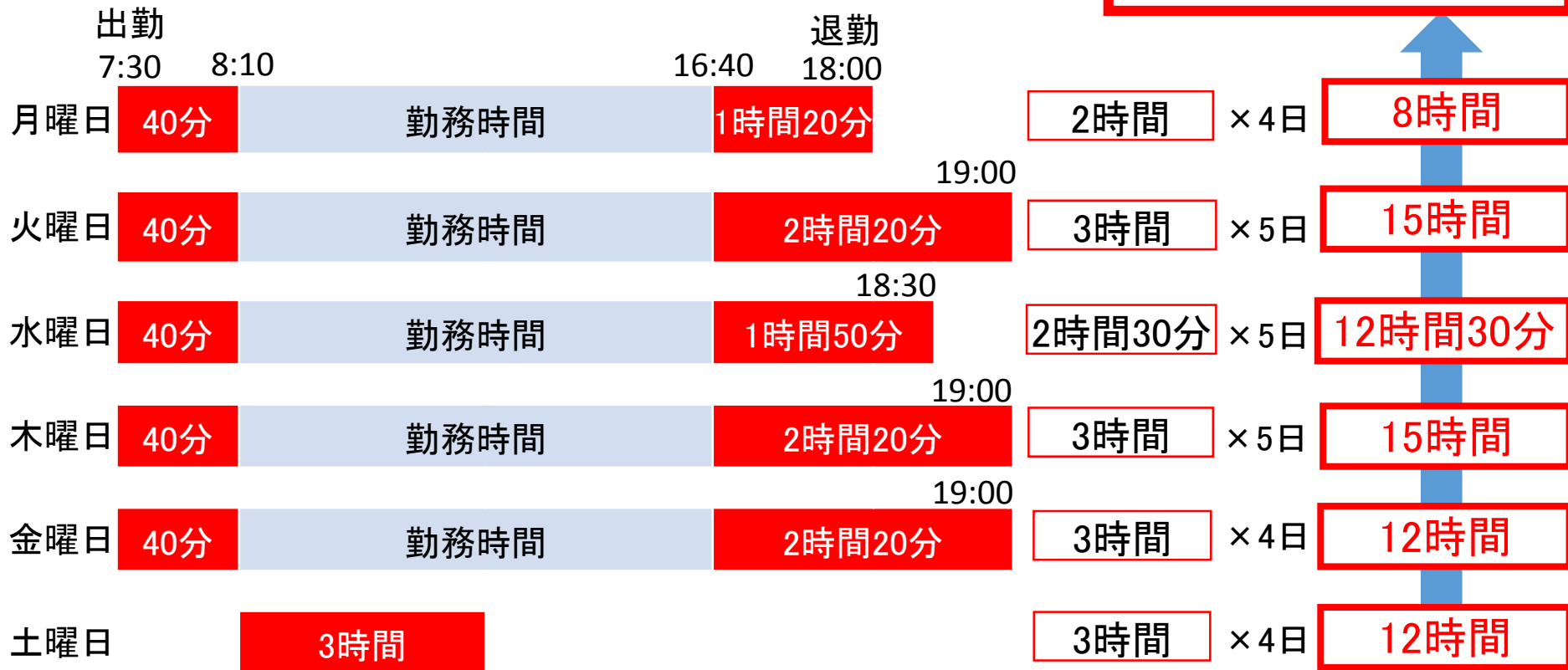
74モデル

(平日)

2～3時間／日

16時間30分／週

74時間30分／月



	内容	1週間あたりの時間	1か月あたりの時間
	このモデルから、増えてしまうところはどこですか？		
	このモデルから、減らせるところはどこですか？		

超過勤務時間
()月の目標

時間

63モデルを基にした、超過勤務時間削減シミュレーションシート

対象：60～70時間

63モデル

(平日)

1.5～2.5時間／日

14時間／週

63時間／月

出勤

7:30 8:10

退勤

16:40 17:30



	内容	1週間あたりの時間	1か月あたりの時間
	このモデルから、増えてしまうところはどこですか？		
	このモデルから、減らせるところはどこですか？		

超過勤務時間
()月の目標

時間

51モデルを基にした、超過勤務時間削減シミュレーションシート

対象：50～60時間

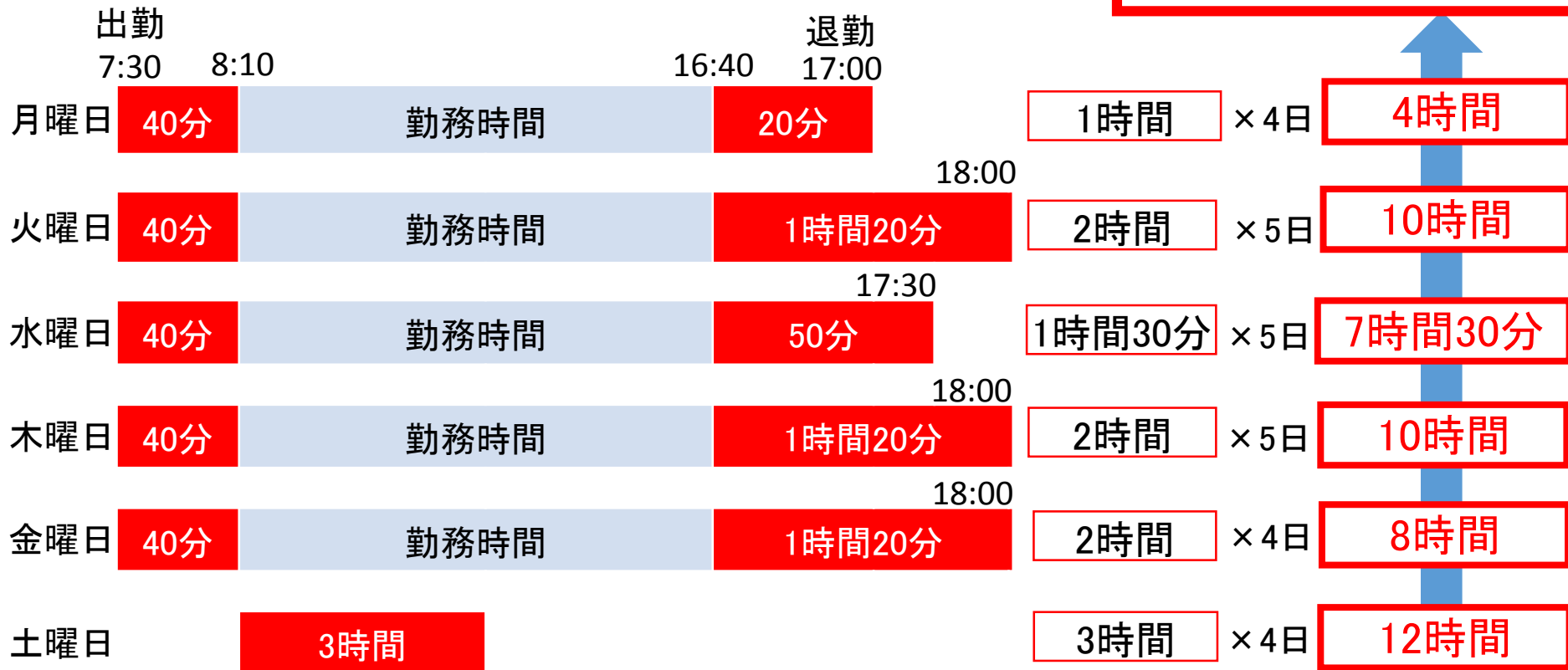
51モデル

(平日)

1～2時間／日

12時間30分／週

51時間30分／月



	内容	1週間あたりの時間	1か月あたりの時間
	このモデルから、増えてしまうところはどこですか？		
	このモデルから、減らせるところはどこですか？		

超過勤務時間
()月の目標

時間

45モデルを基にした、超過勤務時間削減シミュレーションシート

対象：50時間以下

45モデル

(平日)

50分～1時間50分／日

9時間50分／週

45時間10分／月

出勤

7:40 8:10

退勤

16:40 17:00



	内容	1週間あたりの時間	1か月あたりの時間
	このモデルから、増えてしまうところはどこですか？		
	このモデルから、減らせるところはどこですか？		

超過勤務時間
()月の目標

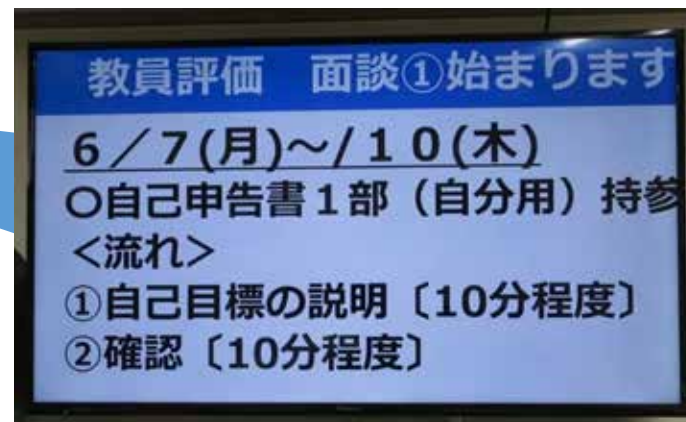
時間

連絡事項の電子化

職員室の大型モニター



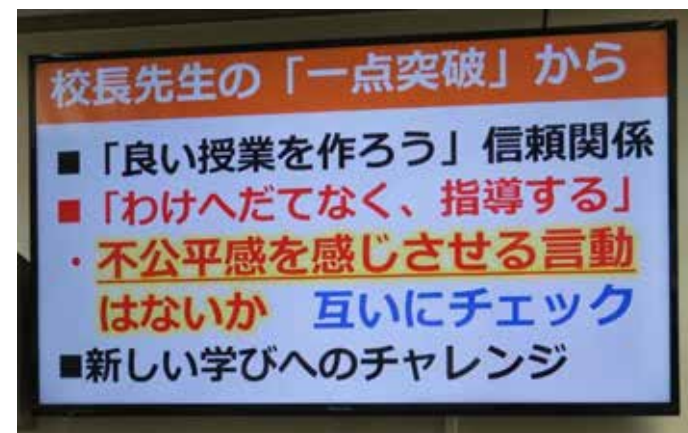
パワーポイントのスライドショー機能



簡易な連絡事項



すぐ下にあるPCに、
いつでも、だれでも
入力できる



ときには、思いや願いを伝える